

紙づて

企業向けのシステム開発から始まり、携帯電話向けゲーム配信、そして比較サイトと、エイチームの事業は拡大していったのです。二〇〇三年に十人だったスタッフは現在、千人を超え、年間売り上げも六千万円ほどでしたが現在は三百億円を超えるぐらいになってきました。

〇〇年当初「この会社に未来はない」「この会社に勤めていると彼女や家族が心配するので辞めます」などと言われ、オフィスを借りる時にも、実績がないからと数々の入居審査にも落ちました。クレジットカードの審査にも通りません。仕入れ取引は全て現金前払いです。

普通は、就職して社会人経験を積

一番うれしかった瞬間

林 高生

み、信用や人脈を構築してから起業することが多いと思いますが、人脈も信用も何もない状態からの起業の道のりはとても険しいものでした。「自分の会社は世の中から必要とされていない、ただの『はみ出し者』なんじゃないか」。そんなふうに思ったこともありました。

一二年四月四日、東京証券取引所の最上階にある特別応接室にて「株式会社エイチーム 林高生殿 マザーズ市場に上場しましたので御通知申し上げます」と告げられた時、今までの苦労が走馬灯のようによみがえりました。創業して初めて第三者からのねぎらいの言葉に思え、そして社会から正式に認められたのだと感じたのでした。

これが起業して一番うれしかった瞬間です。
(エイチーム社長)